

製品名: TRAF2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81667**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	55.8KD

抗原情報

遺伝子名	TRAF2
別名	TRAP; TRAP3; MGC:45012
遺伝子 ID	7186.0
SwissProt ID	Q12933
免疫原	大腸菌で発現したヒト TRAF2 (AA: 39-188) の精製された組み換え断片。

背景

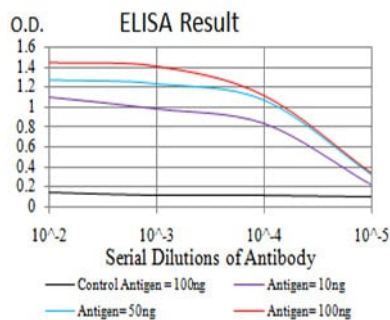
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体関連因子 (TRAF) タンパク質ファミリーのメンバーです。TRAF タンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーと会合し、シグナル伝達を媒介します。このタンパク質は TNF 受容体と直接相互

作用し、TRAF1 とヘテロ二量体複合体を形成します。このタンパク質は、TNF- α を介した MAPK8/JNK および NF- κ B の活性化に必須です。このタンパク質と TRAF1 によって形成されるタンパク質複合体は、アポトーシス抑制タンパク質 (IAP) と相互作用し、TNF 受容体からの抗アポトーシスシグナルの媒介として機能します。このタンパク質は、TNF 受容体関連アポトーシスシグナル伝達因子である TRADD と相互作用し、IAP をリクルートしてカスパーゼ活性化を直接阻害します。ユビキチンリガーゼ活性を有するアポトーシス阻害因子 BIRC2/c-IAP1 は、このタンパク質のピキチン化を脱離させ、分解を誘導することで、TNF 誘導性アポトーシスを増強します。この遺伝子には複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみつっていますが、生物学的妥当性が確認されている転写バリエーションは1つだけです。

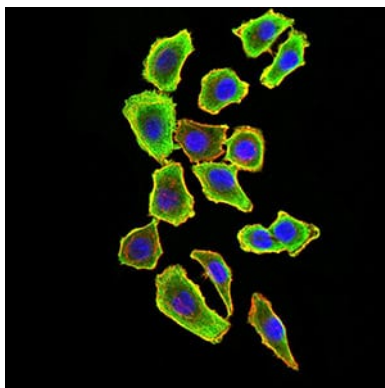
研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

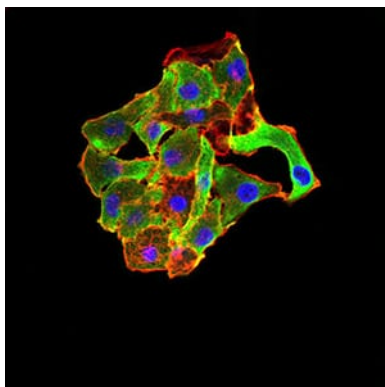
画像データ



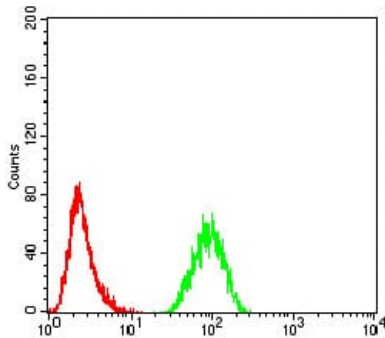
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



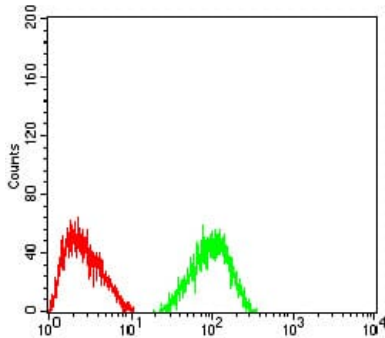
TRAF2 マウス mAb (緑) を用いた HL-7702 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



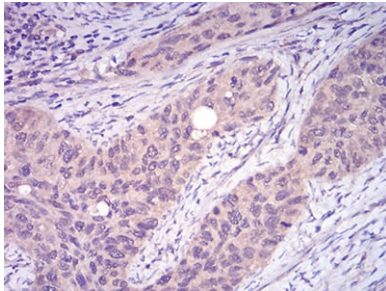
TRAF2 マウス mAb (緑) を用いた MCF-7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



TRAF2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



TRAF2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



TRAF2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。